

## 令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじんちゆうぶふいるはーもにーこうきょうがくだん 特定非営利活動法人 中部フィルハーモニー交響楽団	団体ウェブサイトURL	<a href="https://chubu-phil.com/">https://chubu-phil.com/</a>
代表者職・氏名	理事長 加藤隆久		
制作団体所在地	〒 485-0041 最寄り駅(バス停) 名鉄 小牧駅 愛知県小牧市小牧二丁目107番地 小牧市市民会館内		
電話番号	0568-43-4333		
ふりがな 公演団体名	とくていひえいりかつどうほうじんちゆうぶふいるはーもにーこうきょうがくだん 特定非営利活動法人 中部フィルハーモニー交響楽団	団体ウェブサイトURL	<a href="https://chubu-phil.com/">https://chubu-phil.com/</a>
代表者職・氏名	理事長 加藤隆久		
公演団体所在地	〒 485-0041 最寄り駅(バス停) 名鉄 小牧駅 愛知県小牧市小牧二丁目107番地 小牧市市民会館内		
制作団体 設立年月	2000年10月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	会長:西村義明 理事長:加藤 隆久 常務理事:上村和久ほか2名 常任理事:赤堀裕之史,岩田徹ほか4名 理事:稲山達也,佐藤大五郎ほか5名	芸術監督・首席指揮者:秋山和慶 首席指揮者:飯森範親 常任客演コンサートマスター:平光真彌 楽団員:40名(一般公募オーディションによる) 事務局:9名	
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	演奏事業部長 岡田進司 演奏事業部 乾 光季
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	事務局長 布藤和志

<p><b>制作団体沿革</b></p>	<p>2000年10月「小牧市交響楽団」として設立。現芸術監督・常任指揮者秋山和慶氏の協力のもとに活動を開始。2006年12月「中部フィルハーモニー管弦楽団」と改称。拠点は愛知県小牧市(人口15万人)で、県庁所在地ではない地方都市を本拠地とする、全国的にも例の少ないオーケストラ。小牧市、地元企業などの支援を受け、市内の幼稚園・保育園から中学校まで、毎年音楽鑑賞会を実施。地域文化の発展に寄与するとともに、名古屋市、岐阜市、松阪市(三重県)などで定期的に公演を行い、活動の範囲を中部地方一円まで広げている。</p> <p>2009年2月、愛知県芸術選奨文化新人賞受賞。2015年5月、創立15周年を記念し、マーラー:交響曲第2番「復活」を秋山和慶氏の指揮で演奏し、高い評価を得る。2018年より、NAGOYAシリーズ3回、KOMAKIシリーズ2回、計5回の定期演奏会を、2021年からはKOMAKIシリーズを3回に増やし、特別公演を含む年間10回の自主公演を行っている。</p> <p>2021年、コロナ禍で延期されていた創立20周年記念コンサートを秋山和慶氏の指揮で開催、成功に導いた。</p> <p>2020年より、秋山和慶氏を芸術監督・常任指揮者、飯森範親氏を首席客演指揮者に活動を続けている。</p>					
<p><b>学校等における公演実績</b></p>	<p>■小牧市内音楽教室(2000年度～) 2年～3年で全園・全校を巡回 幼稚園・保育園…32園 小学校…16校 中学校…9校</p> <p>■文化庁学校公演 平成21年度～平成30年度…「巡回公演」 令和2年度～令和4年度…「巡回公演」 令和2年度…「創出事業」 令和3年度…「体験支援事業」 令和4年度…「体験再興事業」</p>					
<p><b>特別支援学校等における公演実績</b></p>	<p>文化庁「子供のための巡回公演」による実績</p> <p>平成22年度 ①岩手県立盛岡みたけ支援学校 ②北海道立白糠養護学校</p> <p>平成23年度 鹿児島県立鹿児島聾学校</p> <p>平成29年度 滋賀県立三雲養護学校</p> <p>令和3年度 三重県立松阪あゆみ特別支援学校 ※コロナ禍により、配信公演として実施</p>					
<p><b>参考資料の有無</b></p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>				
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://youtu.be/zXBHSsakCuk">https://youtu.be/zXBHSsakCuk</a> <a href="https://youtu.be/0h0ZLXE2Xbo">https://youtu.be/0h0ZLXE2Xbo</a></p>				
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="932 1601 1007 1641">ID:</td> <td data-bbox="1007 1601 1437 1641"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="932 1641 1007 1680">PW:</td> <td data-bbox="1007 1641 1437 1680"></td> </tr> </table>	ID:		PW:	
ID:						
PW:						

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 特定非営利活動法人 中部フィルハーモニー交響楽団】

対象	小学生(低学年)	-	
	小学生(中学年)	-	
	小学生(高学年)	-	
	中学生	○	
企画名	世界の音楽を聴きながら音楽の表現力を体感しよう！		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【中学校プログラム】</p> <p>&lt;前半オープニング&gt; エルガー:行進曲「威風堂々」第4番(4'30) &lt;楽器紹介&gt; 『きらきら星変奏曲』による楽器紹介(8) アンダーソン:プリंक・プランク・プルンク(2) ハチャトゥリアン:バレエ音楽「ガイーヌ」より「レズギンカ」(3) &lt;オペラを聴こう！&gt; モーツァルト:歌劇「フィガロの結婚」より“恋とはどんなものかしら”(3) プッチーニ:歌劇「ジャンニ・スキッキ」より“私のお父さん”(3) &lt;指揮してみよう！&gt; ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」第1楽章(7) 休憩(10) &lt;後半オープニング&gt; グリーグ:劇音楽「ペール・ギュント」より“アラビアの踊り”(4) &lt;協奏曲を聴こう！&gt; モーツァルト:フルートとハープのための協奏曲より第1楽章(6) &lt;クイズ！この曲どんな情景？&gt; ①グリーグ:劇音楽「ペール・ギュント」より“朝” ②J.シュトラウス:ポルカ「雷鳴と稲妻」 ③スメタナ:交響詩「モルダウ」 &lt;みんなでボディーパーカッション！&gt;(10) グリーグ:「ペール・ギュント」より“山の魔王の宮殿にて” &lt;エンディング&gt; ワーグナー:楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲(10) 校歌(2) アンコール…ベリー／キングスレー:パロック・ホーダウン(3)</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>		
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	世界各国の作曲家による作品を用いて、中学生用プログラムとして、著名な曲を聴きながらオーケストラの色彩感、音楽の持つ表現力を感じ取る。楽器紹介、指揮者コーナー、クイズコーナーなどを織り交ぜ、開演から終演まで飽きることなく聴くことができるよう工夫している。司会者によって進行するが、指揮者による踏み込んだ解説もはさみながら進める。		

<p><b>演目選択理由</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エルガー:行進曲「威風堂々」第4番…エルガーの演奏会用行進曲は5曲あり、第1番が有名であるが、この第4番も中間部に美しい旋律を持っており、コンサートの幕開けに相応しい、堂々とした曲。</li> <li>●『きらきら星変奏曲』による楽器紹介…同曲の旋律に乗せて順番に楽器を紹介してゆく当団オリジナルのオーケストラ入門曲。</li> <li>●アンダーソン:プリंक・プランク・プルンク…弦楽器の奏法の一つであるピツィカートを紹介。</li> <li>●ハチャトゥリアン:バレエ音楽「ガイース」より“レズギンカ”…管楽器、打楽器が大活躍する曲で全合奏の醍醐味を体感。</li> <li>●モーツァルト:歌劇「フィガロの結婚」より“恋とはどんなものかしら”、プッチーニ:歌劇「ジャンニ・スキッキ」より“私のお父さん”…器楽、声楽、演劇の総合芸術である歌劇を紹介し、オペラならではのベルカント唱法による有名なアリアを聴く。</li> <li>●ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」第1楽章…今日に至るまで、音楽史上の最高峰の一つに数えられる「運命」。なぜそう言われるのか、冒頭から繰り返される4つの音の秘密に迫る。冒頭部分は指揮体験の題材としても用い、指揮者の役割を学ぶ。</li> </ul> <p>休憩</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●グリーグ:劇音楽「ペール・ギュント」より“アラビアの踊り”…軽快かつユーモラスな楽曲で後半の開演。同郷の作家イブセンの戯曲の付随音楽であることも解説。</li> <li>●モーツァルト:フルートとハーブのための協奏曲より第1楽章…器楽のジャンルの一つ、協奏曲の紹介。独奏楽器とオーケストラの共演というスタイルの成り立ちも解説。</li> <li>●グリーグ:劇音楽「ペール・ギュント」より“朝”、シュトラウス:ポルカ「雷鳴と稲妻」 スメタナ:交響詩「モルダウ」…自然の情景を表した3曲を聴いて、それぞれがどのような情景を表現しているかをクイズ形式で解説。音楽の持つ表現力の豊かさを知る。</li> <li>●グリーグ:「ペール・ギュント」より“山の魔王の宮殿にて”…特徴ある動きのリズムパターンを何度も繰り返すこの曲を使って、ボディーパーカッションとオーケストラの共演。次第に速度を増し、最高潮に達するまでオーケストラに付いて来られるか?演奏と一緒に参加して一体感を得る。</li> <li>●ワーグナー:楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲…歌劇というジャンルを独自の手法で極め、楽劇というジャンルを築いたワーグナーの代表作。優れた管弦楽法による壮大華麗なこの楽曲は、公演のエンディングに相応しい。</li> <li>●ペリー/キングスレー:バロック・ホーダウン…バロック・ホーダウン(ディズニーランド、エレクトリカルパレードの原曲)…公演の最後に手拍子で参加し、オーケストラとの一体感を持って締めくくることができる。</li> </ul>		
<p><b>児童・生徒の共演、参加又は体験の形態</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「運命」を題材に、指揮に挑戦。</li> <li>●「山の魔王の宮殿にて」の特徴あるリズムをボディーパーカッションで表現し、オーケストラと共演。</li> <li>●「校歌」をオーケストラの伴奏で斉唱。</li> <li>●「アンコール」オーケストラの演奏に手拍子で参加。</li> </ul>		
<p><b>出演者</b></p>	<p>指揮/鈴木織衛or水戸博之or山脇幸人or喜古恵理香          独奏フルート、ハーブ/楽員          司会・歌/奥村育子or加藤恵利子          管弦楽/中部フィルハーモニー交響楽団          10型2管 弦10-8-6-6-4 管打3-2-2-2-4-3-3-1 Timp+3 HP</p>		
<p><b>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む</b></p>	<p>出演者: 61 名          スタッフ: 10 名          合計: 71 名</p>	<p><b>運搬</b></p>	<p>積載量: 4t 2t          車長: 4t 8.95 m 2t 6.43m          台数: 計 2 台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	8:30	8:30~10:00		13:30~15:00	10分	15:00~16:30	16時30分
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。						
本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月		
	10日	5日	0日	11日	13日		
	11月	12月	1月	計	57日		
	11日	0日	7日				
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						
児童・生徒の 参加可能人数	本公演			共演人数目安		学校のご希望に沿います	
				鑑賞人数目安		学校のご希望に沿います	



#### 楽器紹介

間近で聴く音色にうっとり...



#### 指揮者体験

みんなで練習しよう!

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出や  
がわかる写真)

※採択決定後、採  
択団体へ図面等詳  
細の提出をお願い  
します。



#### 音楽クイズ

正解発表に一喜一憂○×



#### オケ雑壇

舞台には段差を付けて管楽器も  
見やすく👁️

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	500名程度
ワークショップ 実施形態及び内容	楽団員6名以内でメンバーを構成。 ●挨拶を兼ねたアンサンブル演奏 ●オーケストラの基礎知識 ・楽器編成、種類、音高、音色など、実際に演奏しながら楽員自ら解説 ●本公演で行う指揮者体験コーナーの練習 拍子とは？ 2拍子、3拍子、4拍子の聞き分けと振り方 ボディパーカッションの練習 ●楽曲を聴いて拍子あてクイズ ●オーケストラ何でも質問コーナー ●纏めのアンサンブル演奏		
ワークショップの ねらい	ワークショップの目的は本公演に臨む前の予備知識を得る機会であり、以下の点を重視。 ●オーケストラとは何か、弦楽器、管楽器、打楽器の集まりであること、個々の楽器の特徴や音色について本物の楽器を見せながら解説。本公演でのオーケストラ体験への期待を高める。 ●本公演での指揮者体験コーナーに備えて、拍子について学ぶ。 ●オーケストラメンバーへの素朴な疑問、何歳から？1日何時間練習？楽器を選んだ理由は？など、中々聴くことができない質問を通して交流しながら、団員と児童との隔たりを狭くする。 ●少人数のアンサンブルながら、プロフェッショナルな演奏をすることで、本物を聴くことの感動を知る機会としたい。		
その他ワークショップに 関する特記事項等	特別支援学校等の場合は、当該校の特性に合わせて構成を変えたり、学年を特定するなど、柔軟な対応が可能。		



奥村育子  
IKUKO OKUMURA

名古屋市出身。愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学院を首席で修了。在学中に2012年度中村桃子賞受賞。また大学の推薦により大幸財団第22回丹羽奨励生として奨学金を受ける。第67回全日本学生音楽コンクール 声楽部門大学の部全国大会 第2位。第7回岐阜国際音楽祭コンクール 声楽部門一般I 第1位、岐阜市長賞、審査員特別賞、文化人特別賞受賞の3つの特別賞を受賞。第27回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門 入選（ファイナリスト）、その他多数コンクールにて入賞。オペラ《奥様女中》セルピーナ 《魔笛》夜の女王、パミーナ 《カルメン》 フラスキータ 《ヘンゼルとグレーテル》 グレーテル 《こどもと魔法》 炎、リス、オペレッタ 《こうもり》 アデーレ 《白馬亭にて》 ヨゼッファ 《伯爵令嬢マリツァ》 マリツァ、ミュージカル 《ライト・イン・ザ・ピアッツァ》 クララ役等で出演。J.S.バッハ 《ロ短調ミサ》、ベートーヴェン 《交響曲第九番》 ハイドン 《天地創造》 ソプラノソリストとして出演。

また、宮川彬良氏作曲《あしたの瞳》花井君代役で出演。

2019年7月、NHK-FM「リサイタル・パッジオ」に出演。

これまでに末吉利行、水野麻美の各氏に師事。現在、東海地方を中心にオペラ・オペレッタ、ミュージカル、コンサートへの出演、オーケストラとの共演や歌のお姉さんとしてファミリーコンサートへ出演するなど、活動は多岐にわたっている。また、後進の指導にもあたる。同朋高等学校音楽科 非常勤講師、もりっこ彩合唱団指導者。



加藤恵利子  
ERIKO KATO

名古屋市出身。名古屋音楽大学声楽学科卒業。平成30年度 芸術創造賞（名古屋市文化振興事業団）を受賞。

これまでに歌劇「あしたの瞳（初演）」「ブラック・ジャック（初演）」（以上、作曲・指揮 宮川彬良）、戦国オペラ「本能寺が燃える」（帰蝶・お濃役、演出 西川右近）、オペレッタ「こうもり」（アデーレ）「伯爵令嬢マリッツァ」（リーザ）「チャルダッシュの女王」（シュタージ）、ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」（修道院長）「ザ・ミュージックマン」（マリアン・パルー）「ライト・イン・ザ・ピアッツァ」（マーガレット）東宝ミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」等に出演する他、名古屋市内 名所旧跡での日本の歌ソロコンサートにも出演。クラシックコンサート・ファミリーコンサート等でのナビゲーターや、オーケストラ学校芸術鑑賞会での歌、ナレーション、司会をつとめる。

自主企画に「加藤恵利子～日本の歌、お好きですか？」「Valentine Dinner Show～ラブソング、お好きですか？」、聴覚障害者のための鑑賞サポート付きコンサート 等。

好きな動物は、猫。好きな食べ物は、ひつまぶし。





喜古恵理香  
Erika Kiko

東京音楽大学音楽学部作曲指揮専攻（指揮）及び同大学大学院指揮研究領域に学ぶ。これまでに指揮を広上淳一、汐澤安彦、下野竜也、田代俊文、三河正典の各氏に師事。

在学中、井上道義指揮者講習会にて優秀者に選出され、同講習 2017 年 9 月から NHK 交響楽団よりパーヴォ・ヤルヴィ氏のアシスタントに任命され、2 年間アシスタントコンダクターを務めた。最近では新国立劇場、二期会、藤原歌劇団、日生劇場にて各主催のオペラ公演に副指揮者として携わる他、広島交響楽団、京都市交響楽団をはじめその他国内各地のオーケストラと共演し活躍の場を広げている。

2022 年、次世代指揮者アカデミー&コンクール第 3 位およびオーケストラ賞受賞。



山脇幸人  
Yukito Yamawaki

1992 年生まれ、宮崎県出身。指揮を尾高忠明、下野竜也、山田和樹、ヨルマ・パヌラ、ジョン・チュンの各氏に、ピアノを江口玲氏に師事。

ロンドン・クラシカル・ソロイスト指揮者コンクール第 1 位、第 1 回マスタリング・ヨーロッパ・マスターズ国際指揮者コンクール第 2 位、第 18 回東京国際音楽コンクール〈指揮〉ベスト 8、第 2 回民音国際指揮者講習会ファイナリスト。延岡ロータリークラブより文化奨励賞受賞。2019 年 2 月より NHK 交響楽団にて研鑽を積み、8 月より同団にて首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィのアシスタント（2019-20 年シーズン）を務め、ヤルヴィをはじめ各客演指揮者のアシスタントとして定期公演等に携わる。東京藝術大学音楽学部指揮科を卒業後、バイエルン州立歌劇場で研修生（2015-16 年シーズン）として、キリル・ペトレンコやズービン・メータといった数多くの巨匠の下で研鑽を積む傍ら、ミュンヘン音楽・演劇大学でのコンサートに出演。3 年に 1 度行われる東京国際音楽コンクール〈指揮〉に 200 名以上の応募から予備審査を 4 度通過し、第 16 回～19 回連続出場。東京・春・音楽祭 2019 にてリッカルド・ムーティによる「イタリア・オペラ・アカデミー in 東京」の最終選考に 120 名以上の応募から 12 名のうちの 1 人として招聘される。

これまでに、東京都交響楽団、富士山静岡交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、ロンドン・クラシカル・ソロイスト、ブカレスト交響楽団、江南交響楽団、長栄交響楽団、藝大フィルハーモニア等を指揮している。NHK ラジオ放送第 1「すっぴん」に篠崎史紀氏と共にゲスト出演し演奏するなど、多方面で活躍中。2021 年より洗足学園音楽大学にて非常勤講師を勤める。これからの活躍が期待される若手指揮者の一人である。



水戸博之  
Hiroyuki Mito

1988年北海道出身。東京音楽大学、及び同大学大学院作曲指揮科（指揮）を卒業。これまでに指揮を広上淳一、汐澤安彦、田代俊文、加納明洋、三河正典各氏に、ピアノを奥山優香、北島公彦、米田栄子、野田清隆各氏に、音楽理論を伊左治直氏に師事。在学中、サントリーホール主催レインボウデビューコンサート 21 に出演。千葉県東総文化会館「東総の第九」にて東京音楽大学シンフォニーオーケストラを指揮。また、井上道義指揮者講習会にて優秀者に選抜され、入賞者によるリレーコンサートにてオーケストラアンサンブル金沢、金沢大学管弦楽団を指揮。これまでに京都市交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団などに客演。副指揮として日生劇場、藤原歌劇団のオペラ公演に参加。また、東京混声合唱団とも共演を重ねており、これまでにNHK交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会に同合唱団の合唱指揮者として出演する他、定期演奏会や文化庁主催の巡回公演に出演する。現在、オーケストラトリプティーク常任指揮者、東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンス、八王子ユース弦楽アンサンブル副指揮者。2016年よりNHK交響楽団よりパーヴォ・ヤルヴィ氏のアシスタントに任命され、ヤルヴィ氏が指揮する同団の公演に携わる。



鈴木 織衛（指揮）

Orie Suzuki, conductor

東京藝術大学指揮科、同大学院卒。遠藤雅古、松尾葉子両氏に師事。藝大在学中より作曲家・故中田喜直氏の薫陶を受け、氏とのジョイントコンサートにより、ピアニストとしてデビューを果たす。その後は、日本屈指のオペラ団体・二期会において、数々の作品に指揮者、合唱指揮者、コレペティとして、また斉田正子、錦織健氏など人気声楽家のピアノ伴奏者として活躍した。1993年と1997年には、オペラ指揮の活動に対し、文化庁より年間奨学金を授与された。

1996年ベルリンでのドイツ室内管弦楽団定期演奏会でコンサート指揮者デビュー。2010年より13年間にわたり、オーケストラ・アンサンブル金沢専任指揮者を務める。現在、多くの日本のオーケストラとの共演を重ねている。

また、ポップス等クラシック以外のアーティストにも信頼が厚く、森山良子、秋川雅史、岩崎宏美、日野皓正、レ・フレールをはじめ多くのコンサートを指揮、レコーディングにも参加している。

東京藝術大学指揮科講師。